

WEBGUARDIAN V3.4.00 for Linux リリースノート

WEBGUARDIAN V3.3.00 for Linux から WEBGUARDIAN V3.4.00 for Linux において、以下の機能追加および修正／変更を致しました。

1. 新機能、機能改善

本バージョンでは、以下の新機能の追加および機能改善を致しました。

(1) 独自プロキシ認証機能

従来バージョンでの LDAP サーバ連携によるプロキシ認証のほかに、WEBGUARDIAN 独自のプロキシ認証機能を新しく搭載致しました。

(2) 送信データのファイルタイプ判定機能

従来の WEBGUARDIAN で行っていた送信データファイルの MIME タイプ検査 (Content-Type やファイル名・拡張子を、HTTP ヘッダーで判定)に加え、ファイルの内容から実質のファイルタイプを判定する機能を追加致しました。

(3) 送信データの個人情報検査機能

ウェブ経由で送信するデータファイルに対し、個人情報検査を行う機能を新しく搭載致しました。

(4) 『Windows Live Hotmail』の送信情報閲覧に対応

『Windows Live Hotmail』(MSN Hotmail の新サービス)で送信されたウェブメール情報の内容が閲覧可能となるように機能の追加を致しました。

(5) その他諸改善

その他、以下の項目を改善致しました。

- ・規制ルール(MIME タイプ条件、個人情報条件、ファイルタイプ条件)に該当した添付ファイルのファイル名を、規制ログにて確認できるように機能を改善致しました。
- ・検索エンジンの利用状況をログ(CSV ファイル)としてダウンロードした際に、対象の「検索エンジン」と「検索したキーワード」が出力されるように機能を改善致しました。
- ・規制ルールに該当したデータ送信を伴うウェブアクセスに対して、表示されるブロック画面や管理者への通知メールに、検出したファイル名や個人情報の検査結果値が表示できるように機能を改善致しました。

- ・URL グループの設定で、カテゴリと URL 拡張子部分の AND 条件指定が可能となるように機能の改善を致しました。

2. 変更

GUARDIANSUITE V4.2.00 (WEBGUARDIAN V3.3.00) までに含まれる、以下の不具合に対する変更を実施致しました。

(1) 一部の外部送信データが保存されない不具合

WEBGUARDIAN にて、一時的に大量の外部送信 (POST リクエスト) が集中すると、検査サーバ側における外部送信データの保存処理が遅延することがございます。この状態でログローテーションが実行された場合に、保存処理が未完である外部送信データが保存されない不具合があり、これに対して以下の対応を実施致しました。

- ・保存用一時キューへの出力後、1 日以内に保存されなかった外部送信データは保存の対象外とするように変更致しました。
- ・毎日 00:00 に、保存対象外となった外部送信データがキューに発生しているかどうかを確認し、発生している場合は管理者にメール通知を行うように変更致しました。
- ・保存用一時キュー内の、保存対象外となった外部送信データを管理するためのコマンドを追加し、保存対象外となった外部送信データを再度保存対象可能とするように変更致しました。

3. 修正

GUARDIANSUITE V4.2.00 (WEBGUARDIAN V3.3.00) までに含まれる、以下の不具合を修正致しました。

(1) 検索エンジンの利用状況検索による結果が表示されない不具合

登録されている検索エンジンの利用状況からキーワードを指定して検索を行った際、検索結果に該当する件数が大規模(数十万件以上)である場合に、検索結果が表示されない不具合があり、これを修正致しました。

(2) ディスク使用量確認画面で 2TB を超えるサイズが正しく表示されない不具合

管理サーバ、検査サーバのディスク使用量確認画面において、ログ保存ディレクトリやアーカイブ保存ディレクトリに指定しているファイルシステムのディスクサイズが、2TB までしか表示されない不具合を修正致しました。

(3) リストア完了後にテープが元の位置に戻らない不具合

監査データ以外のデータ(メールログやウェブログ)のみがバックアップされているテープから、リストアリストを作成した後にリストアを実行すると、リストア完了時にテープ位置が元の位置に戻らない不具合を修正致しました。

4. システム要件

WEBGUARDIAN V3.4.00 for Linux を利用するには、以下の要件を満たしたハードウェア／ソフトウェアが必要となります。

【Linux 版サーバ条件】

- OS : RedHat Enterprise Linux AS/ES 4,
: RedHat Enterprise Linux 5
(次のパッケージがインストールされている必要があります。
ed、tcl、compat-db、compat-libstdc++、mt-st、
libstdc++-devel)
- CPU : 上記 OS が動作する IA-32 (Pentium 以上)、
Intel64 プロセッサ (Itanium2 は非対応)

【管理用クライアント条件】

- OS : Windows XP/Vista
- ウェブブラウザ : Internet Explorer 6.0sp2, 6.0sp3, 7.0sp1
- その他条件 : ブラウザの JavaScript が有効であること

以上